

収受番号: 353

評価結果提出届（兼受理書）

（小規模多機能型居宅介護）

健康福祉局介護事業指導課 あて

（太枠内のみ記入してください。）

提出日： 令和 2 年 3 月 10 日

届出者	サービス種別 （該当に○）	○	小規模多機能型居宅介護					○	介護予防小規模多機能型居宅介護				
	事業所番号	1	4	9	1	0	0	0	2	8	5		
	事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所 こすずめの里											
	事業所所在地	（〒245-0063） 横浜市戸塚区原宿 2-6-7											
	担当者名	管理者 大嶋 芽美											
	連絡先	電話	045-858-3322					FAX	045-858-3322				

次のとおり、資料を添えて提出します。

運営推進会議開催日		令和 2 年 2 月 26 日 (文書確認)	
添付書類 (チェック欄にレ)	チェック欄	✓	事業所自己評価
		✓	サービス評価総括表
		✓	返信用封筒(84 円切手を貼った返信先明記の長 3 封筒)

（以下は記入しないでください。）

評価結果提出届を受理しました。

受理日	2 年 3 月 11 日	実施年度	令和 2 年度
次回実施期限	3 年 3 月 31 日		

＜次回の外部評価実施後、運営推進介護を開催した日から 1 か月以内に提出をしてください。＞

＜この受理書は再発行しません。＞

【発行】 横浜市健康福祉局介護事業指導課 電話 045-671-3466 FAX045-681-7789

受付担当者：



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2 年 2 月 5・6 日 (14:00 ~ 15:30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー
常勤 (大嶋・千葉・鳥海・今泉) 4 名
非常勤 (杉江・西野・斉藤・森谷・石飛・小澤・野村・佐藤・福田・工藤・小山・平塚) 12 名
合計 16 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	14 人	人	人	19 人

前回の改善計画	初回利用時は、できる限り対応するスタッフを固定する。夜間においても、巡視・コールの対応方法を解りやすく説明し利用者の不安軽減に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	訪問サービスに入るスタッフをできる範囲で固定し、利用者との早期関係作りに取組んだ。また、一人夜勤のため、状況により訪室まで時間を要する場合もある旨ゆっくり解りやすい説明に努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	9	10			19
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	10	8	1		19
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	7	9	3		19
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	16			19

できている点	・研修、送り、連絡事項で新規利用者の情報を詳しく把握できた。 ・利用初日に不安にならないよう、予め本人と顔合わせをしてから訪問サービスに入った。 ・初日訪問では、本人とゆっくり話をしてからケアに当たった。 ・通いサービスで、スタッフが同じ席につき話題作りに努め、他利用者との橋渡しに取組んだ。 ・短時間でも、本人と関わりがもてるよう声かけしている。
--------	--

できていない点	・解りやすい言葉での説明に欠け、新人へ伝えたと思っていたことが正確に伝わっていなかった。 ・新情報の把握が遅れ、ケアの優先順位を間違えたことがあった。 ・良かれと思い元気よく声掛けたが、本人にとっては不快に感じ、利用者を不安にさせてしまった。(本人の状態をよく観察できていなかった) ・初回が宿泊から入った際に、時間に限りもありゆっくりついてあげられず、安心させてあげられなかったことがある。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	ケアの優先順位を間違えないよう、サービスに入る前に最新情報を把握する。
---------------	-------------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2 年 2 月 5・6 日 (14:00 ~ 15:30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 常勤 (大嶋・千葉・鳥海・今泉) 4 名
非常勤 (杉江・西野・斉藤・森谷・石飛・小澤・野村・佐藤・福田・工藤・小山・平塚) 12 名
合計 16 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	12	2	人	19

前回の改善計画	発語が出にくい人であっても、その時の思いや要望を態度や表情から汲取り、その情報を新人からベテランまで共有しながら支援していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	発語が出にくい人へ、より多く声を掛けたことで気づきが増え、チームで支援できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	3	10	5	1	19
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	3	12	3	1	19
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	7	9	3		19
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	5	12	1	1	19

できている点	・当面の目標を把握し、本人のしたいことに重きをおきケアに当たった。 ・長期目標や短期目標を理解し、柔軟に対応方法を検討している。 ・研修等で疑問点を発言するよう心がけ、改善に繋げるよう努めた。 ・日勤の様子を夜勤へ送り、夜間帯であっても本人の希望に沿うよう対応できた。 ・できる範囲内で、本人の希望に沿う食事を提供できた。
--------	---

できていない点	・本人がどのくらい満足できているのか? 関わり方がよかったのか? 不安になることがある。 ・本人と家族の希望にずれが大きく、本人の希望に沿った対応までに時間がかかる場合もある。 (本人: 自宅での入浴希望、家族: 施設での入浴希望) ・経験浅く、発言するまでに至っていない。 ・勤務日ではない本人の目標は、把握が難しい。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	職員間のコミュニケーションを更に深め、本人が満足できる支援に繋げていく。
---------------	--------------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 2 年 2 月 5・6 日 (14:00 ~ 15:30)
3. 日常生活の支援	メンバー	常勤 (大嶋・千葉・鳥海・今泉) 4 名 非常勤 (杉江・西野・斉藤・森谷・石飛・小澤・野村・佐藤・福田・工藤・小山・平塚) 12 名 合計 16 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	7 人	10 人	2 人	人	19 人

前回の改善計画	記録を具体的に記載し、気持ちの変化を共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果	「トランプをして楽しまれる。」だけではなく、会話や訴えを具体的に記載し、だれが見ても気持ちがわかるよう記録した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	4	8	6	1	19
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	9	9	1		19
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	10	9			19
④ 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	13	5	1		19
⑤ 共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	10	9			19

できている点	・ベッドではなく布団で宿泊してもらい、自宅での生活スタイルを尊重できた。 ・排泄の訴えがない人であっても、態度や表情から気づくことに努め支援している。 ・アセスメントや日常会話から、本人の以前の暮らしを把握できた。 ・本人の状態に応じて、食事介助方法や食事形態を工夫している(ミキサー等)。 ・できることは本人に行ってもらい、さりげなく自立を促すよう声掛けできた。 ・変化に早く気づけるよう普段の状態を把握し、その時にあった対応ができた(受診同行等)。
--------	---

できていない点	・親族おらず認知症進行がみられると、以前の暮らしが把握できない場合もある。 ・関わりが少ないか? 経験不足か? 利用者が突然不穏になっても、理由が解らないことがある。 ・変化(微熱)を他の職員から聞いていたが、メモを取らなかったため再検を忘れてしまったことがある。(他の業務に当たっている間に抜けてしまった)
---------	--

次回までの具体的な改善計画	メモをとる習慣を身につけ、状態変化の共有を徹底する。
---------------	----------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2 年 2 月 5・6 日 (14:00 ~ 15:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 常勤 (大嶋・千葉・鳥海・今泉) 4 名
非常勤 (杉江・西野・斉藤・森谷・石飛・小澤・野村・佐藤・福田・工藤・小山・平塚) 12 名
合計 16 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	10 人	9 人	人	人	19 人

前回の改善計画	どのような地域資源があるのか? だれが見ても解るよう表にし、地域情報を共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果	事務所内に地域資源を掲示し、情報共有できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	8	8	3		19
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	5	14			19
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	8	7	3	1	19
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	10	8	1		19

できている点	・ゴミ出しを行政に依頼せず、近隣者の協力を継続できた。 ・電話での見守り等を活用し、事業所を利用していない時間であっても自宅で安全に暮らせるよう必要な支援を継続できた。 ・生活歴を尊重し、地域資源を活用(行きつけの美容院への送迎等)できた。 ・シニアボランティアの方々が獅子舞・音楽会等のイベントを開催して下さり、地域との交流が図れた。 ・近隣施設のイベントへ定期的に参加し、小学生や高校生とも交流できた。
--------	---

できていない点	・本人が、「家族に迷惑かけたくない」という思いから、職員への異存度が強まり家族との関わりが薄れていく場合もある。 ・勤務浅く余裕がなく、人間関係がまだよくわかっていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	本人と家族の関わりが薄れることがないように、本人と関わる距離感を見直していく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 2 年 2 月 5・6 日 (14:00 ~ 15:30)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	常勤 (大嶋・千葉・鳥海・今泉) 4 名 非常勤 (杉江・西野・斉藤・森谷・石飛・小澤・野村・佐藤・福田・工藤・小山・平塚) 12 名 合計 16 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	9 人	9 人	1 人	人	19 人

前回の改善計画	統一した理解のもとサービスが提供できるよう、共有ノートを解りやすく記載する。
前回の改善計画に対する取組み結果	重要な内容は色を使い、必要な情報を箇条書きで簡潔に記載した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	10	9			19
② ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	17	2			19
③ 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	12	7			19
④ その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	14	4	1		19

できている点	・訪問看護、ふれあいゴミ収集等の様々なサービスを利用し、状態及びニーズに沿った支援ができた。 ・内服が難しい場合において、毎日 2 回訪問サービスで入り必要な支援に繋げている。 ・リーダーを中心に、研修や申送りで現在の状況を共有できている。 ・遅い時間帯であっても緊急宿泊を受入れ、緊急受診も即時に対応した。 ・家族の状況により、早朝から通いサービスを受入れ柔軟に対応できた。
--------	--

できていない点	・本人が自立を望まず、宿泊から通いを中心としたサービスへの移行が困難なケースがあった。(自立を促す声掛けの工夫が足らず、本人を混乱させてしまった。) ・本人ができることであっても、その気力を引き出すことが難しく必要以上の支援になることがある。 ・経験不足により、気づきが遅れ即時の対応ができなかった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	“自立を目指す気力”を引き出せるよう、声かけの仕方を工夫する。
---------------	---------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 2 年 2 月 5・6 日 (14:00 ~ 15:30)
6. 連携・協働	メンバー	常勤 (大嶋・千葉・鳥海・今泉) 4 名 非常勤 (杉江・西野・斉藤・森谷・石飛・小澤・野村・佐藤・福田・工藤・小山・平塚) 12 名 合計 16 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7 人	12 人	人	人	19 人

前回の改善計画	地域の幅を拡げ、本人が他者の目を気にせず出かけられるイベントを企画する。
前回の改善計画に対する取組み結果	目的地を定めず“ドライブ”を企画し、江の島方面へ出かけニーズに答えることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	15	4			19
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	13	5	1		19
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	11	7	1		19
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	9	10			19

できている点	・自宅での生活が困難となった場合に、他事業所と連携し入所等に繋げた。 ・近隣イベントや消防訓練に参加し地域住民との交流が継続できた。 ・事業所で獅子舞や音楽会等を行い、子供たちや多くの地域住民の来訪があった。 ・担当者会議にて、福祉用具や訪問看護等と連携し必要な支援に繋げている。 ・事業所の代表として管理者やケアマネが、横浜市小規模多機能連絡会やケアマネットに参加している。
--------	--

できていない点	・地域ケアプラザが近隣にあることもあり、見学等の来訪はあるも一般相談は多くはない。 ・外部のイベントが長時間だと参加が難しい場合もあり、参加先が限られてしまう。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	短時間でも外部イベントに参加できる体制を整える。
---------------	--------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 2 年 2 月 5・6 日 (14:00 ~ 15:30)
7. 運営	メンバー	常勤 (大嶋・千葉・鳥海・今泉) 4 名 非常勤 (杉江・西野・斉藤・森谷・石飛・小澤・野村・佐藤・福田・工藤・小山・平塚) 12 名 合計 16 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	8 人	10 人	1 人	人	19 人

前回の改善計画	現場で受けた家族等からの話は、全スタッフが“事業所の代表として話を受けている”と自覚し、その場にあった対応をする。
前回の改善計画に対する取組み結果	送迎時に家族から受けた相談を丁寧に傾聴しケアマネに繋ぎ、その時にあった対応をすることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	5	9	5		19
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	10	8	1		19
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	9	10			19
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	6	13			19

できている点	・苦情は貴重な意見として真摯に受止め、改善策を共有し即時に対応している。 ・運営推進会議を定期的に開催し、サービスの質の向上を目指し必要に応じ運営を見直している。 ・本人が屋外で保護され家族不在であった場合に、警察と連携し事業所で迎えに行き対応した。 ・疑問点は、現場から積極的に声をあげるよう努めた。 ・地域の方々と一緒に避難訓練を行った。
--------	---

できていない点	・送迎時間に関し苦情をいただいたが、対応(時間調整等)までに時間がかかったケースがある。 ・経験に差があることもあり、新人が気づく前にベテランが先に気づき意見が偏りがちになる。 ・勤務浅く質問が主となり、意見を言うまでに至っていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	意見を募る際は新人から聞き、誰もが発言しやすい職場環境作りに努める。
---------------	------------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2 年 2 月 5・6 日 (14:00 ~ 15:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 常勤（大嶋・千葉・鳥海・今泉）4 名
非常勤（杉江・西野・斉藤・森谷・石飛・小澤・野村・佐藤・福田・工藤・小山・平塚）12 名
合計 16 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	8 人	11 人	人	人	19 人

前回の改善計画	自身が経験したヒヤリでなくとも、危険性を高く保てるよう互いに声かけを行いリスクマネジメントの意識を高める。
前回の改善計画に対する取組み結果	予測される危険について声を掛けあい、危険予測が薄れないよう意識改革に取り組んだ。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	17	2			19
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	13	5	1		19
③	地域連絡会に参加していますか	17	2			19
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	12	7			19

できている点	・ヒヤリハットを共有し事故防止策について検討し、再発防止に取り組んだ。 ・内部研修に毎月参加し、スキルアップに努めた。 ・運営推進会議を 2 カ月に 1 回開催し、ケアマネットの連絡会にも参加した。 ・事例を用い研修を行い、リスクマネジメントに取り組んだ。
--------	---

できていない点	・研修で学んだことを、実践するタイミングが掴めずスキルアップできているのか？解らない。 ・現在資格取得はできていないが、今後挑戦していく。 ・外部研修は時間都合つかず、体調との兼ね合いもあり参加できていない(外部：自主性を尊重)。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	研修での学びを実践できるよう、支援方法を具体的に示す。
---------------	-----------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2 年 2 月 5・6 日 (14:00 ~ 15:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 常勤（大嶋・千葉・鳥海・今泉）4 名
非常勤（杉江・西野・斉藤・森谷・石飛・小澤・野村・佐藤・福田・工藤・小山・平塚）12 名
合計 16 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	9 人	10 人	人	人	19 人

前回の改善計画	現場で記録を記入していても、その場から離れる際は、記録を適切な場所に片づけ個人情報を慎重に取扱う。
前回の改善計画に対する取組み結果	席を離れる際は片付けるよう互いに声を掛け合い、“片づけの習慣化” に取組んだ。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	19				19
②	虐待は行われていない	19				19
③	プライバシーが守られている	10	7	2		19
④	必要な方に成年後見制度を活用している	17	2			19
⑤	適正な個人情報の管理ができている	13	6			19

できている点	・虐待、身体拘束、個人情報に関する研修を行い再確認できた（虐待防止の自己点検：毎年実施）。 ・「トイレ」という言葉を出さずに、さりげなく誘導しプライバシーに配慮している。 ・身体拘束廃止の意義や禁止項目を把握し、身体拘束ゼロに努めた。 ・成年後見制度が必要な人に対し、ケアプラザへ繋ぎ支援できた。 ・宿泊室が全室個室で、プライバシーが守られている。
--------	--

できていない点	・場所をわきまえず、フロアで大きな声で話したため他利用者に聞こえてしまった。 ・同フロアに、認知症とそうでない人がいてプライバシー保持が難しい場面もある。 ・情報共有の声が大きく、配慮に欠けていたと後から気づくことがある。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	会話場所・音量に気を配り、個人情報の漏洩防止に努める。
---------------	-----------------------------

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	有限会社 リヲ福祉サービス	代表者	代表取締役 馬場 世津	法人・事業所の特徴			
事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所 こすずめの里	管理者	大嶋 芽美				

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	2人	3人	人	(文書確認)1人	(文書確認)1人	人	2人	4人	13人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	より多くのスタッフが自己評価に取組めるよう、取組み期間を長く設ける。	1 カ月の期間を設け多くの職員が取組み、ゆっくり振り返りができた。	職員は良くできていると感じている。自信を持って評価して良いと思う。	自信をもって、自己評価に取り組む。
B. 事業所のしつらえ・環境	春夏秋冬に合わせ室内の装飾を工夫し、季節を感じられる空間作りに努める。	一目見て季節を感じられるよう季節感ある貼絵を掲示した。また、雛人形やクリスマスツリーで彩り、年中行事を感じられる空間作りに努めた。	室内は居心地が良い空間となっている。コロナウイルス対策に努めてほしい。	定期的な換気・消毒を行い、衛生保持に努める。
C. 事業所と地域のかかわり	会議等にて事業所のイベントを事前に周知し、地域との交流を継続する。	早い段階での周知はあまり効果が見られず、開催間際に知らせた方が参加率は高かった。また、定期的にイベントを開催し地域交流も継続できた。	職員が地域ボランティアとして活躍していて、それを事業所で開催し(獅子舞)、地域住民との橋渡しとなり良い環境にあると思う。	多くの地域住民と交流できるよう、イベントへの参加をサポートする。
D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取り組み	地域ボランティアの協力を得ながら、イベントや外出レクリエーションをより充実させていく。	ボランティアの協力で、花見や燗作りを楽しむことができた。また、シニアボランティア事業所に登録し、新しいイベントが開催できた。	多くのイベントを開催し、外出レクリエーションも充実していて継続してほしい。	シニアボランティア登録事業所ということ幅広く知ってもらい、更なるレクリエーションの充実を目指す。
E. 運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議を通し、オレオレ詐欺から利用者を守るよう地域で情報を共有し注意喚起に努める。	会議で得た詐欺情報を具体的に伝えることで、身近に感じることができよう地域に注意喚起ができた。	実際に身近にも詐欺被害がある。地域で情報共有し、詐欺防止に繋がりたいと思う。	運営推進会議を通し、地域情報を共有し詐欺被害予防に努める。

F. 事業所の 防災・災害対策	災害時に一目で助けが必要かどうかわかるよう“札”を作成し、いざという時に備える。	“札”を作成し、いざという時に備える準備ができた。	コロナウイルス流行によりマスク不足が深刻である。災害が起きるともつと大変な事態に陥り、今後は食料以外の備蓄も重要となってくる。	災害時における消毒液・マスク等の備蓄品を見直す。
--------------------	--	---------------------------	---	--------------------------